令和6年度第1回中標津町地域公共交通活性化協議会 議事録

中標津町地域公共交通活性化協議会事務局
(中標津町町民生活部生活課)

- 1 日 時 令和6年6月20日(木)
- 2 場 所 中標津町役場 3階 301会議室
- 3 出席者 遠藤会長、他委員15名、アドバイザー、オブザーバー、事務局3名
- 4 議 題 議案第1号 令和5年度事業報告及び収支決算報告について
議案第2号 令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
議案第3号 令和7年度地域内フィーダー系統に関する計画認定申請について
議案第4号 中標津町地域公共交通網の見直しについて
- 5 議事の経過
 - (1) 協議会運営に関する報告
 - ・協議会委員任期満了に伴う役員改選により、西村町長より委嘱状を交付
 - ・吉田委員の代理として、梶浦氏が出席。
 - ・本年度も、町の公共交通政策に関するアドバイザーとして、為国孝敏氏に交通計画の推進等をご協力いただく。
 - (2) 議案第1号 令和5年度事業報告及び収支決算報告について
 - ・監査報告 → 監事である二瓶委員より、適正に執行されている旨、報告
 - ・異議なし → **議案第1号について承認**
 - (3) 議案第2号 令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
【遠藤会長】
 - ・今年の計画、収支予算については、紙面のとおり進めてよろしいか。
→ 異議なし → **議案第2号について承認**
 - (4) 議案第3号 令和7年度地域内フィーダー系統に関する計画認定申請について
 - ・異議なし → **議案第3号について承認**
 - ・申請作業等は、事務局の方で進めていく。
 - (5) 議案第4号 中標津町地域公共交通網の見直しについて
【委員】
 - ・検討内容は良いと思うが、検討期間が長すぎるのではないか。
 - ・ここに来るまでに様々なプロセス、検討を経ていただいていることには感謝しているが、運行してみないとわからないこともある。1年、2年前に動いていれば、今年度もしかしたら運行できたかもしれないと感じる。

【会長】

- ・事務局内での同様の議論を行っており、早期に実証運行を行うことが非常に重要だと認識しているが、諸々の調整や国の補助制度活用等の関係から、このスケジュールとなっている。

【事務局】

- ・長年課題であった路線再編であり、実証運行とはいえ、移行に時間がかかっているというのは正直なところ。
- ・これまでの協議会での議論の積み重ねを踏まえながら、早期に実証運行を調べ、本格運行に向けて進めていきたい。

【委員】

- ・事業者さんとの協議が1番問題になるかと思う。人手不足、賃金の高騰等色々あることからしっかり進めていただきたい。

【委員】

- ・来年の4月から実施されるということだが、その前に、試行期間とかは行わないのか。

【会長】

- ・4月からの運行が実証運行となり、町民への周知が必要なことから、準備期間が必要になる。

【委員】

- ・デマンド運行の予約について、連絡して予約となると思うが、地区別に分けられるのか、そういったことになるのか。

【事務局】

- ・電話予約を想定している。機械・AIを活用した予約方法など様々なものがあるが、詳細はまだ決定していない。
- ・運行のイメージとしては、何日前に予約をいただき、その需要に応じて、武佐・俣落・養老牛の3エリアを、それぞれ曜日を振り分けて運行する。各エリアを運行する曜日は週に1～2日程度。予約状況により運行しない日もあることを想定。
- ・本格運行に向けた道筋としては、来年4月から実証運行を行い、その結果を見ながら微修正を行うことを想定している。

【委員】

- ・デマンドバスの利用者層は、高齢者が多いのではないかと思うが、AIが対応するのではなく、もう少しきめ細かな対応が良いのではと感じる。

【事務局】

- ・事務局としても、その点は留意事項として認識しており、基本的には電話予約となることを想定している。

【委員】

- ・ 現行の路線に対してのフィーダー補助については、一旦来年の3月に切れるという認識か。

【事務局】

- ・ 現行の再編案では実証運行の開始を最短で来年4月からとしており、必要に応じて、フィーダー計画の変更を行うことを想定している。

【委員】

- ・ 今年度のフィーダー計画について、今後、札幌や東京の方でも審査を行うことから、表現等、微修正が発生する可能性があることを留意いただきたい。

【委員】

- ・ 現状の市内線に充てている広域生活路線の方も、一旦切れるという認識か。

【事務局】

- ・ 市内線再編案の南線がそれにあたるため、切り替える場合、そのようになる。

【委員】

- ・ 4月までの間に運賃をどうするか、慎重に検討し進めていかなければならないと思う。

【会長】

- ・ 現状の市内線の運賃を継続する、あるいは多少値上げするなど、様々なパターンが想定されるが、検討を進めていきたい。

【委員】

- ・ 市内線の利用者数について、令和6年度から利用者数が増加傾向となっている。
- ・ 再編にあたり、この利用者数を減少させることがないように計画を進めていかなければならないと思う。

【会長】

- ・ 事務局内部でも同様の認識を持っていることから、十分注意しながら進めていきたい。

【委員】

- ・ お年寄りの足を確保していただければ、今後に期待している。

【アドバイザー】

- ・ 委員から指摘されたように、スケジュールの進み具合として時間がかかっていることは認識しており、事務局とも打合せをしている。
- ・ また、他の委員から指摘されたように各種関係機関との調整、バス停の作成等で警察、道路管理者にチェックしていただかなければならない等がある。
- ・ 阿寒バス（株）からの提供資料として、市内線の利用者数の推移があるが、こ

- の増加要因としては、中標津－別海線の再編による利便性向上が関わっている。
- ・このように他路線の再編も利用者数の増減に起因することから、きちんとモニタリングをすることが必要。
 - ・市内線の再編について、再編内容としては、市内線の利便性が非常に上がる内容となっており、おそらく、これまで以上に利用されることが想定される。
 - ・再編内容の検討にあたっては、皆様からのご意見が一番重要であることから、是非積極的にご意見をいただきたい。

⇒議案第4号 中標津町地域公共交通網の見直しについて、現在の再編内容の方向性で進めていくことを承認

(6) 事務局からの報告

- ・日東交通（株）から、今年度の協議会委員について辞退する旨の連絡があった。
- ・町営バスの運行委託受託事業者であり、町内交通路線の再編とも関わりがあることから、協議会での協議内容は、事務局から日東交通（株）へ情報共有を行う。